

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	主催する側は会議を滞りなく実施することに意識が終始してしまい、出席する側の気持ちの配慮に欠けていた。今後は施設運営に興味を持って頂く為にも、議事録を送付し、事前に納得のいくまで説明をする等して不安なく意欲的な参加に繋げたい。	出席者の会議に対する不安や不明瞭さを軽減し、施設を運営する上でのキーパーソンとしての役割意識を持って参加して頂く。	家族に対しては、月末に送付する諸資料と共に議事録を送付する。 近隣住民に対しては、事業所便りと共に回覧に回して貰える様、自治会に依頼する。 質問や不安には都度真摯に対応する。	1ヶ月
2	8	施設内では研修を開く等して、成年後見人に対する基礎知識を職員は身につけたが、他者に対して制度を斡旋するレベルには至っていない。 また、その必要もないと判断していたことから、福祉施設としての自覚が足りなかったと言える。	内部研修を繰り返す事により、正しい知識を身につける。制度を必要としている人に説明、斡旋ができる。また関係機関に迅速に結びつける事が出来る。	施設内にパンフレットを設置し、誰もが直ぐ手にできる環境を整える。(家族会での配布も検討) 内部研修内容に成年後見人制度についての研修を入れる。(1回/年)	12ヶ月
3	35	近隣住民の協力を要請した夜間の災害対策の訓練が実際には行えていない。 日中に比べ、職員の数が著しく減少する夜間こそ職員の的確な判断と近隣住民の協力が必要不可欠といえる。	夜間を想定した訓練に近隣住民が参加する。 準夜勤者のみでの訓練を実施し、マニュアルを徹底する。	普段から近隣住民、自治会役員との関係性向上に向けた取り組みを意識する。(地域清掃・挨拶・イベントのお誘い等)その上で運営推進会議の出席の依頼を継続的に行い、また自治会の会合へも定期的に参加させて頂けるように努める。状況をみて訓練参加の依頼を提示する。	12ヶ月
4					月
5					月